

題 「イナチとミライ」

行真く
 付をさ!! ら、わはる
 物小き機械が言んに
 が生をじいがん博士とが當だにたとこ博士前一空も
 れな体こかうがひ過ぎずか
 こさ、シテこい。うかいすが考
 !! 小め、リ交よ。たかひいすが考
 じ水るマ長まのでひいすが考
 て、近し見う前、思おた、たけ何がで
 博作、士思おた、たけ何がで
 か、よつてみ事すよ人な
 いいでみ人な
 みをえ、あうげ周ホーリー水人
 略(使)うそして、メタだ
 た、うのえは、!! ウソだ



間も、もが…
悪らう水見
力と真
か見
てよ!!それ
でもたゞ見
たしもたゞ見
た。それ
で、オレは、この
マシーンにのることに
な、た。

第1章 「アレ、負強しなく て後悔する。

「うあ~スッゲ~!!スゴ
オレは思わずそのまま、た
さに声を上げてしまふ。目の
な人見て、人に見て、かく見え
る人がこなにで、かすく言う
る人だ、分かじくうの大
きさ。
「やあ、見かけない顔だね。
うあ~!!ビックリした。
ううかりに話しかけられた
ううビックりするわ。だ、だ、
話しかけたのが、メタ力な
人だもん。
「ぼくは、メタ力のビート。
オレだよ、君は?
「オレは、新しくここにき

た、生物だよ。おひるねしてるよ、
 ト、大丈夫? おひるねしてます。今、
 エリヤさんです。だかう。
 ヨウチになな? 丁度今、
 5、ご飯だし。
 リ、…。
 ト、何んでそんなんにさきが
 5、声いろえ? まだのさきが
 だかう。何度も言わせな
 ハ、くれ…。
 ハ、まあ…。や!! とりあえず
 行こ、
 えんなごとで、オレは、
 ビートルの家へ行く、と
 にが、た。
 家にいくと、そこには、
 何人(四?)かの家の生物が出、
 むかえてくれた。
 ト、紹介するよ。ほくの姉ち
 ゃ、人のミサイド。
 ハ、よろしくね。
 ト、そして、ミサイドの左側にハ
 ミ、のが、親父のアヒント。
 ハ、やあ、やあ。よくきてくれ
 たね。
 ハ、ちよ、とま、て、ケント。

さんてビートのちがいは分
がるんだけど、ビートとミ
イさん人のちがいが分からな
い。今だけ…簡単だよ。ぼく
は、背びれに切れ込みがあり
るけど、そこは平行は
り、ぼくは平行が平行は
四辺形、ほぼ平行で、こ
しりひれが三角形、行は
た。これ、メタカラのオスと
メスの匂いが、常識だよ。
へえ～、はすかし、りや、ば、ち。
人で勉強すればよが、た
んでそれにこいつは、お腹が最
近出はじめてるんでね。
ビート!!そんれ、絶対言、ミ
チャダメ下しよ、赤にしち
イ、ビート。あとで私の部屋
にきなさい。じっくり話
ましょ。
「か～す、すません…」
「ううだ、ご飯にしよ!!」
お客人もきてるんだし。
「かお～、いわね～、オ

L、もうお腹へこべこだせ!!

序2章 川の宝石箱やった
ぼくの前に出されただ
料理は、想像を絶するもの
た。まず、シンコのサラダ
次に、ツリガネムシスープ。
その後に、ツムシのソテー。
とい、た。肉だうけコース
だよ!!
トタカモ内すきなくす
でも、りたりよだん、もても
キモすきよだん、に食べ
みる。なはお~びしき
((うな))のり? 前は神様だ!!
るよ。いいトリお前は神様だ!!
せひ食べてくれ!!
まあ、そくなこちゅう
無事、地獄の食事タイムは
終わ、た。ふふ~。

第3章「大実験」トタカは
イビキをかくのが

もう月も美しく輝いてる。は、のは、は、
 たり、頃、ほく鬼力はいつか、へには、
 計画を立てる。そこには、
 「メド」、甲延、ビートの部屋で、
 かよが、た、の部屋で、じっくり、
 ピートが眠ろうと顔で帰
 てきました。たくさんのやつ。
 うるさいんだよ、アーヴィング。
 もうよう、お、ビートが戻ってきました。
 した、では実験開始です。
 ビートのねでここへ向かうと
 ビートはまだ口を開けていた。
 たこ、ビート、起きるのかよ。
 えう言、でも(じか)トトまで寝る
 しないか、あ、!! 旰心な志。

れてた!! でも、でも、でも、も
 う結果は出でるメダカはち
 イセキをかがないださ
 え、まぐらの、さ
 す、オレも寝るとすさ

 第4章 「ビートは九帳」
 ハー、よく寝た、今日はうす
 ビーといふ想像を絶じ一
 朝食はスルヘキシテ、た
 トの部屋まで向か、た
 すくして、あきれてなくて
 かいえう思つて、じ
 ーとが帰ってきた。
 トち、ちょ、勝手に見
 ないでよ、紹介してもうか
 ハヤ、紹介してもうか
 ハヤ、りんかいやすき、か、氣
 変わるのはやすきするよす
 ト、水草
 ここにある、が、呼吸を助
 け、アナルス、が、くれば
 こ3にもなる、見た目が

良いんだ!! 次に、ここに食
べる?」
「遠慮してくれ…。
「う。ここに多くのは、
ミシンコとツバメがいたまう
ね。次はこの川の川のう。
きてくれると、うがおうう。
じ屋とぼくの部屋をまわす
じし。このタニシ、印うみす
ぎをくだ…。うちこまなくて
もういいじゃよ!! いやあ次い
くよ。次はこの温度!! たい
たい24~25℃くらいだ
たら、め、5℃気持ちえ
ねんり。
「なぜに関西弁?
「やりやだよ。ユーモアた
よー、タカのギャグはよく分
からん
「はいはい、面白くなくて
わるうござんしたぬ。次い

次はこの3日もまたもでればよ。いたいだいたく
 川口で、と、これるよ。さんげた屋に
 もうちが部へ、紹介りがと、うて屋に
 くおしたむ、氣にな、部へ
 やけくな、もう、
 の?

「ううん、毎日5回は部屋
 でじをしろんだ」
 「うまく~ビートして意外
 に行かべき症なんだね。

第5章 「新しいハイノチ」ア
 ビートに部屋紹介して後
 もう、時間が8時間近く
 ビートが彼女をつれてきた
 「ぼくの彼女の『ビート』
 だよ。今産卵期なんだ。
 今
 日にどうも卵をうみてうです。
 「お人だね、
 「親父!! これはほくの彼女
 だからね!!」

「はいはい、ピーチさんが
たまごをうむとこ3みたい
です。いいい見学
さじゅうもんではじります
3よううなやつに見えます。
が、うんて失礼な!! まあいい、

約二十五分後、
卵を産むところを見せる子さか
んをあけ? かけ? まなかけ
人ストリーカーか? おじ? 千さく間に
どう? か? おじ? ピアノの千? びれで
ま? か? ひれ? 卵をト? かしり? びれで
う? へ? ピ? お? ~? お? お? お? お?
え? て? お? お? お? お? お? お?
い? い? お? お? お? お? お? お?

トの部屋の杏草につけたうをこなし。時た早ご機でしなもても力きや
何か学校の授業で、うたなは精子な
卵にたづけられとて、人ビート卵をたん
たくなればよたが小マシヨリそ準備¹今なが分体し
よく見送りよき早てよはよるようが胸に分体しが
間はく化問せねだな油てま!!な
の動く時さととんにじて、うたでまく
から後、目がさるがう部²が黒くな
るに、頭よに心

肺か歎きはじめたのでさらさらたり。
心臓も力強く血液を運ぶ。水分
を多く取るために、さつに水を飲む。
後から汗をかく。手足が冷たくて、
37度はよほがいい。でも、
おへんな。おへんなは化して
うえでしょ。あなたや、
たぬぬ!! ベビーチ：お前のみかけた
ように私の孫ができたら、
私がおばさんになるとは
「お前どうする？」
「うだうち、力強く生きる
オルダカ。うてとで、
ほりいとうて、
うてしてます」
「じゃあもうしましま」と無事に
子どもができました!!

第6章
 パークへは天才、
 の部屋へ行つてみ
 よう!! えう、えう、はか
 まつ!! ハパーた、やつにして
 ワイイなあ、それにして
 (変われ、あらなあ...)
 「何か?」
 えが、しゃべ、た!! うで
 もな(後編)
 「何が変わった?」
 「いや、ひれがだうにな、パーる
 君、お腹もい、はいふラ
 人で、おしゃりでしよ、エリも最近食
 「しゃれたないじゃん、相手
 なんだ、だいたうから
 は未収容をもつてうから、
 う、3日ほりがうない
 た、生意気一!! キッ、一!! でも
 ま、ほんとほんと元気!! はいだしな
 た、な人下大し、人と(な)スッ
 (やりた?)?

第1章 「悲劇」
今日は、ピートとパウー
とお出かけだ～♪
最初は、メタカラマーティン
でニジンコとワシからう

やは、何が不思議がする。
その後はよく覚えてない。
気が付くのは、メタカラマーティン
から帰ると、3ついた
ちよ、今まで、ココは
違う。カタヤシのなのは
リ

かたヤシ? 何それ。
よく見たかったのかの欲だ。
昔からこのがのばりはうのが
やシにまみれたりして
ま、たて、まの原因は、人
間」という生物だ。

脳が元キンドラなる。え
、人間……ヤバいトイレ
にきたくな、アキタ
「ピート、トイレは？」
「？」

いいよ
よし、トイレへ猪や鹿を
!! ははー、ワシた、鹿を

しめでよ。
 とうあ? ~~~~!! トだ!!
 えんじょう、今のはビートだ!!
 じうじよあけられな人間の
 て!! 塩素だ。またの
 しわびートれ助けてくれ、扉
 があけなま、今いか
 らりまよへて、古とあ
 りトイドさるも、てしま
 は外かうがとじこも、
 うるが!! ビートがあがな
 ハやムリだ。友だちを放
 てあけなま、ビートは
 もう外かうが、たしま、死んじま
 うぞ!!
 いいんだ、助けられただ
 けでもうぼくは後悔してな

「ビート死ぬなビート!!
「ありがとう最後にこれが
だけは許せない人間。
間違はず凶悪だ。絶対に負け
3な!!」
「ビート死ぬなビート~

でも、ビートは二度と。
息を返すが、たゞ一度として。
嘘は、何時も間も。
泣いていた。家族がきた。
ビートの家族が見えた。
（）もビートが見立つて立った。
間にビートが立たなかつた。
「ビート、立たなくてほんと
にありがとう。ビートのために。
下みんなビートのために
背にして、間立つた。
人にオレが立たなくてほんと
急に光がさつ、気がついた。

う、オレは研究室にいた。
もう、イヤだ…。

エビローブ
「どうじゅうたん、水見真小
マジーンでみたメダカは、オ
ヤジつてこうじぬえよ!! オ
レの友だちは、人間のせい
で死んだ。人間のせりゆく報告
だから、オレはここへなりたく
ない!!」
「オレは、ほおに涙を流し
ながら、生物を平気で殺
すよくな悪く人間が前みて良は
い生物を愛せる。よくな間は、
よにもうける。ううと思つて、か
前は人間だけでも、この
研究は無益なものではな
良か、たこを知りて。

「博士……」
オレは博士とかたくさん相手を
した。あれ、一とすか、一と。
「ありがとう……」
決めた。オレは研究をつけ
げる。この体験が決して無
益なものではな」と信じて。
おりり